

令和7年度 八潮市立保健センター事業実績報告

資料1

令和8年5月末現在

1 健康づくり推進事業

(1) 健康づくり懇話会

地域ぐるみによる健康づくり事業を推進するため、町会と協働で健康づくり懇話会を開催した。

	町会名	実施回数	参加者数	実施内容
継続	下木曾根町会	1回	29人	調理実習、講話、座談会
	柳之宮町会	1回	29人	体組成測定、講話、座談会

(2) 健康まつり

保健・医療・福祉の連携と啓発を図り、健康づくりを市民とともに考える場として、健康まつりを開催した。

事業名	実施日	参加者数
第23回八潮市健康まつり	10月26日(日)	1,398人

(3) ウォーキング講習会

市民の健康づくりのため、身近にできる運動であるウォーキングの講習会を実施した。

事業名	回数	参加者数
ウォーキング講習会	3回	延 68人

(4) ラジオ体操講習会

気軽に楽しめる生涯スポーツの一環として、正しいラジオ体操を身に付け、健康の維持増進を図るために、八潮市スポーツ協会と共催で講習会を実施した。

事業名	実施日	参加者数
ラジオ体操講習会	7月4日	58人

(5) みんなで健康マイスター養成講習会 (旧 健康長寿サポーター)

埼玉県が進める「健康長寿埼玉プロジェクト」の一環として、みんなで健康マイスター事業実施要領に基づき、「みんなで健康マイスター」を養成した。

事業名	回数	養成者数
みんなで健康マイスター養成講習会	2回	53人

(6) コバトンALK00 (あるこう) マイレージ

誰でも使いやすく、楽しく歩ける機能が充実した歩数管理アプリを活用して「コバトンALK00マイレージ」を実施した。併せてコバトンALK00 マイレージを活用した市の独自ポイント事業として「ハッピーこまちゃん健康ポイント」を実施した。

事業名	登録者数
コバトンALK00マイレージ	1,033人

(7) 体力づくり講座

健康づくりに取り組む市民を支援するため、筋トレ講座、ウォーキング講座、栄養講座を実施した。

講座名	実施日	参加者数
筋トレ講座	5月8日	13人
ウォーキング講座	5月15日	11人
栄養講座	10月11日	28人

(8) 骨髄移植ドナー助成金の交付

公益財団法人「日本骨髄バンク」が実施する骨髄バンク事業において、ドナー登録者の中で骨髄等を提供した場合に助成金を交付するもの。

事業名	助成人数
骨髄移植ドナー助成金交付事業	0人

(9) 自殺対策事業

八潮市のいち支える自殺対策計画に基づき、事業を実施した。

①ゲートキーパー養成講座

こころの健康について理解し、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげるゲートキーパー養成講座を市民及び職員向けに実施した。

事業名	実施日	対象	参加者数
ゲートキーパー養成講座	11月5日	市民	33人
	11月28日	職員	35人

②自殺対策推進会議

自殺対策について、関係機関・団体と連携し、自殺対策の推進を図ることを目的に実施した。参加者16人（事務局含む）。

(10) 健康管理システムの維持管理

健康管理システムの標準化対応やHPVワクチン接種の副本登録対応を行った。

(11) 食育推進事業

おやこ料理教室、おとなのための食育セミナー、栄養講座、栄養相談、食に関する情報提供等を行い、食育の推進を図った。

事業名	回数	参加者数
おやこ料理教室	2回	14組33人
大人のための食育セミナー	4回	延 46人

(12) 熱中症対策

熱中症による健康被害を防止することを目的に、市内の公共施設及び民間施設をクーリングシェルターとして指定した。

事業名	区分	指定数
クーリングシェルターの指定	公共施設	8か所
	民間施設	10か所

2 健康増進事業

市民の健康の保持増進を図るため、壮年期からの健康づくり事業を総合的に実施した。

(1) 健康手帳

事業名	交付総数	年齢別内訳	
		40～74歳	75歳以上
健康手帳の交付	551人	265人	286人

(2) 健康教育

健康に関する、正しい知識の普及啓発を行った。

「病態別」は、肥満や高血圧、脂質異常症等についての内容であり、「一般」は、八潮いこい体操等で行う生活習慣病予防に関する内容である。

集団検診で実施していた健康教育の内容を、令和7年度は病態別の内容から骨粗しょう症に変更して実施した。

区分	事業名	実施回数	参加者数
病態別健康教育	地区依頼等	0回	0人
	健康づくりの料理教室	12回	173人
一般健康教育	地区依頼等	63回	811人
	がん検診県民サポーター養成	1回	9人
	生活習慣病予防講座	1回	51人
	健康づくり懇話会※	2回	58人
	みんな健康マイスター養成※	2回	53人
	体力づくり講座※	3回	52人
骨粗しょう症 (転倒予防) 健康教育	地区依頼等	20回	183人
	集団健康教育	13回	2,128人
合計		117回	3,518人

※の事業は、1 健康づくり推進事業の再掲。

(3) 健康相談

健康に関する、個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

「重点健康相談」は、高血圧や脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症等についての内容であり、「総合健康相談」は、心身の健康に関する一般的な事項についての内容である。

骨粗しょう症の結果説明会時に健康相談を行っていたが、令和7年度から、結果を来所による配付から個人への送付に変更したことにより、回数と相談者数が減少した。

重点健康相談		総合健康相談	
回数	相談者数	回数	相談者数
30回	66人	12回	19人

(4) 健康診査等

事業名	区分	対象者	受診者数
健康診査	個別	40歳以上の生活保護受給者	21人
骨粗しょう症検診	集団	20歳以上の市民（女性のみ）	1,096人
歯周疾患検診	個別	20・30・40・45・50・55・60・65・70歳の市民	272人
肝炎ウイルス検診	個別	40歳以上の市民で肝炎ウイルス検査未受診者	418人
ヘルシーチェック（注）	集団	20歳から39歳までの市民	231人

注：ヘルシーチェックは、生活習慣病予防を目的に血圧測定、尿検査、血液検査、骨粗しょう症検診（女性のみ）を実施した。

(5) がん検診

受診率向上対策として、市が実施する検診について40歳には封書で、41歳から70歳には圧着はがきで受診勧奨通知及び受診券を送付した。また、女性のがん検診として子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳で無料クーポン券及びがん検診手帳を送付している。さらに子宮頸がん検診では、罹患率の高い22歳から39歳の女性に対して個別通知を発送した。

なお、国のがん検診指針を踏まえ、子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診内視鏡検査は、2年に1回の受診としている。

事業名	対象者数 （注1）	受診者数（注2）		除外者 （注3）	受診率 （注3）	
		本年度	前年度			
胃がん検診	（集団）バリウム	55,302人	748人	877人	369人	4.0%
	（個別）内視鏡	41,710人	488人	495人		
肺がん検診	（集団）	55,302人	1,347人	1,569人		2.4%
	（うち喀痰検査）		16人	35人		
大腸がん検診	（個別）	55,302人	5,740人	6,040人		10.4%
子宮頸がん検診	（個別）	38,361人	2,137人	2,513人	74人	11.9%
乳がん検診	（集団）	27,067人	617人	767人	18人	10.4%
	（個別）		653人	804人	10人	
前立腺がん検診	（個別）	3,747人	249人	269人		6.6%

注1：対象者数は、検診対象年齢の全数（胃（バリウム）、肺、大腸がんは40歳以上、胃（内視鏡）は50歳以上、子宮頸がんは20歳以上の女性、乳がん検診は40歳以上の女性、前立腺がんは50～75歳の5歳節目年齢の男性）

注2：子宮頸がん検診受診者数には20歳以上の妊婦健康診査受診者（629人）が含まれる。

注3：胃・子宮頸・乳がん検診の受診率は、国の算定式によるものであり、2年連続受診者を除外することとなっている。

(6) 結核検診

結核のまん延を防ぐため、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の者を対象に胸部X線検査を実施した。

なお、結核検診は肺がん検診で撮影したフィルムを使用し判定している。

事業名	実施回数	受診者数
結核検診	13回	536人

(7) こころの健康相談

精神科医による健康相談を実施し、こころの病気や高齢者の認知症などの相談に対応した。

事業名	実施回数	相談者数
こころの健康相談	9回	13人

(8) こころの健康講座

こころの健康づくりを啓発するため、こころの健康講座として講演会を開催した。

事業名	実施日	参加者数
ママのこころの健康講座	11月15日	13人
こころの健康講座	12月7日	60人

(9) 精神保健訪問指導

精神保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して保健師が訪問し、必要な助言等を行った。

事業名	実人数	延人数
精神保健訪問指導	8人	22人

(10) がん患者ウェルビーイング支援事業

① A Y A (アヤ) 世代在宅療養支援事業【新規】

18歳から40歳未満の末期がん患者が利用した、在宅サービスの費用を一部助成するもの。

※A Y A世代とは、15歳から39歳のAdolescent&YoungAdult (思春期・若年成人) のこと。

事業名	助成人数
A Y A 世代在宅療養支援	0人

② アピアランスケア用品購入費助成

がん治療に伴う外見の変化を補うため、購入したアピアランスケア用品の購入費用の一部として、上限20,000円(1人1回限り)を助成した。

事業名	助成人数	助成用具	
		ウィッグ等	その他補整具
アピアランスケア用品購入費助成	28人	24件	5件

※助成用具両方の助成があり、人数と件数の合計は異なる。

(11) 高齢者保健介護予防一体化事業【拡充】

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができる期間を延伸し、QOLの維持向上を図るため、高齢者の特性を踏まえ、関係課と連携を図り一体的に事業を実施した。

①ハイリスクアプローチ

①-1 健診の結果、口腔フレイルのハイリスク者について、オーラルフレイル予防教室を案内し、歯科衛生士による指導を行った。

取組区分	対象者数	通知発送数	参加者数
口腔フレイル	118人	118人	9人

①-2 健診の結果、身体的虚弱の状態にある者や糖尿病治療中断者、健診や医療機関の受診履歴のない者について、家庭訪問や電話等により状態を把握し、必要な支援を実施した。
なお、重症化予防は、糖尿病治療中断者を抽出している。

取組区分	対象者数	通知発送数	実態把握数		未把握数
			家庭訪問	電話等	
身体的フレイル	89人	-	75人	-	14人
重症化予防（糖尿病性腎症）	28人	28人	4人	22人	2人
健康状態不明者対策	55人	52人	23人	23人	9人

②ポピュレーションアプローチ

高齢者の通いの場等での相談ができる場づくりや積極的な関与として健康教育を実施した。

「気軽に相談できる環境づくり」とは、地区担当保健師が通いの場において、地域の実情に応じ、高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談できる環境を整え、より多くの高齢者の健康づくりに寄与する取組である。

取組区分	実施した通いの場	実施回数	参加者数
健康教育・健康相談	28会場	125回	1,465人
フレイル状態の把握	26会場	26回	341人
気軽に相談できる環境づくり	26会場	51回	468人

3 予防接種事業

感染症のまん延を防ぐため、予防接種法に基づく対象疾病に対する定期の予防接種を、次のとおり実施した。

(1) 定期接種（A類疾病）

事業名 (接種ワクチン)		該当児(者)数(注1)		被接種児 (者)数	接種率 (%)
		対象年齢	人数		
ロタワクチン	1価	生後6週0日後～24週0日後	649人	延 757人	58.3
	5価	生後6週0日後～32週0日後		延 829人	42.6
小児用肺炎球菌	初回(3回)	2か月～5歳未満	649人	延 2,019人	103.7
	追加	初回3回接種後60日以上かつ1歳以上	674人	617人	91.5
B型肝炎(3回)		2か月～1歳未満	649人	延 1,956人	100.5
B C G(1回)		1歳未満	649人	673人	103.7
5種混合	1期初回(3回)	2か月～7歳6か月未満	649人	延 2,028人	104.2
	1期追加	1期初回3回接種後6か月以上	674人	503人	74.6
ヒブワクチン (注2)	初回(3回)	2か月～5歳未満	-	0人	-
	追加	初回3回接種後7か月以上	-	29人	-
4種混合 (注2)	1期初回(3回)	2か月～7歳6か月未満	-	1人	-
	1期追加	1期初回3回接種後6か月以上	-	310人	-
3種混合 (注3)	1期初回(3回)	2か月～7歳6か月未満	-	0人	-
	1期追加	1期初回3回接種後6か月以上	-	27人	-
不活化ポリオ (注3)	1期初回(3回)	2か月～7歳6か月未満	-	0人	-
	1期追加	1期初回3回接種後6か月以上	-	28人	-
麻しん風しん混合 (注4)	1期	1歳～2歳未満	649人	631人	97.2
	2期	小学校就学前の1年間	736人	644人	87.5
	1期特例	R4. 4. 2～R5. 4. 1生まれ	-	2人	-
	2期特例	H30. 4. 2～H31. 4. 1生まれ	-	3人	-
	5期特例	S37. 4. 2～S54. 4. 1生まれで、令和6年度末までの風しん抗体検査が陰性の男性	72人	4人	5.6
水痘(2回)		1歳～3歳未満	649人	延 1,153人	88.8
日本脳炎 (注5)	1期初回(2回)	6か月～7歳6か月未満	652人	延 1,225人	93.9
	1期追加	1期初回接種後概ね1年以上	652人	546人	83.7
	2期	9歳～13歳未満	751人	623人	83.0
	1期初回特例	H17. 4. 2～H19. 4. 1生まれでの20歳未満の者	-	0人	-
	1期追加特例		-	2人	-
	2期特例		-	8人	-
HPV(子宮頸がん予防) ワクチン(2～3回)	小学6年生～高校1年生相当の女子(通知は中1)		362人	延 411人	-
	キャッチアップ接種(注6)		6,397人	延 447人	-
2種混合	2期	11歳～13歳未満	704人	534人	75.9

注1：該当児(者)数は、令和7年度新たに予防接種対象者に該当した人数である。

(ヒトパピローマウイルス(HPV))は定期接種の対象者数は中1通知数、キャッチアップ

プ者数は令和7年10月1日現在の人口)

注2：令和6年度より4種混合ワクチンにヒブワクチンを追加した5種混合ワクチンが開始されたため、ヒブワクチン単独、4種混合ワクチンの接種率は少なかった。

注3：令和7年度に4種混合ワクチンが販売終了したため、接種未完了者が代替として、3種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを接種した。

注4：令和6年度の第1期及び第2期の対象者と、第5期の対象者で令和6年度末までに抗体検査を実施し抗体価が不十分であった者のうち、MRワクチンの偏在等が生じたことによりワクチン接種できなかった者は令和8年度まで接種期間が延長された。

(令和9年3月31日までの経過措置)

注5：日本脳炎予防接種については、平成17年度から平成21年度にかけて接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逸した者について、平成23年5月20日から「特例対象者」として、20歳未満までの間に定期予防接種として接種可能となっている。

注6：ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種は、平成25年6月14日から令和3年11月26日まで積極的勧奨(接種の個別通知)を差し控えており、この間に接種機会を逃した者へ、公平な接種機会を確保する観点から令和4年4月1日から令和8年3月31日までキャッチアップ接種を実施した。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種率は、未完了者に対して通知を送付しているため、他のワクチンのように接種率の計算ができないため算出していない。令和7年度の対象は、平成9年度生まれ～平成20年度生まれの女性のうち、令和4～6年度のキャッチアップ接種期間に1回でも接種した者である。

(2) 定期接種 (B類疾病)

事業名 (接種ワクチン)	日数	該当者数		被接種者数	接種率 (%)	
		対象年齢(注1)	人数			
高齢者向けインフルエンザ	10～1月	65歳以上	20,815人	10,447人	50.2	
		60歳～65歳未満	36人	9人	25.0	
新型コロナウイルス感染症	10～1月	65歳以上	20,815人	1,990人	9.6	
		60歳～65歳未満	36人	2人	5.6	
高齢者肺炎球菌	随時	65歳	711人	223人	31.4	
		60歳～65歳未満	36人	0人	0.0	
带状疱疹【新規】	随時	65歳、経過措置対象者(注2)	4,428人	組換 延1,023人	11.6	
				生ワク	224人	5.1
		60歳～65歳未満	36人	組換	0人	0.0
				生ワク	0人	0.0

注1：「60歳～65歳未満」の対象者とは、予防接種法に規定された障がい者を有する者である。

注2：带状疱疹は65歳の者を対象に定期接種が開始され、5年間の経過措置として70・75・80・85・90・95・100・100歳以上の者が対象である。

带状疱疹ワクチンは、組換えワクチン(2回接種)と生ワクチン(1回接種)の2種類。

(3) 任意接種

①大人の風しん予防接種助成事業

地域での風しんの流行を防ぎ、妊婦と生まれてくる赤ちゃんの健康を守るため、大人の風しん予防接種助成事業を実施し、風しんの予防接種費用の一部として上限3,000円（1人1回限り）を助成した。

助成対象者	助成人数
1. 妊娠を予定又は希望している女性（16歳以上50歳未満）	32人
2. 妊婦の配偶者又は同居者	9人
合計	41人

②八潮市造血細胞移植後定期予防接種費用助成事業

造血細胞移植により、既に予防接種によって得ていた免疫を消失したと医師に判断され、任意で再度予防接種を受けた者に費用を助成した。

事業名	助成人数
造血細胞移植後定期予防接種費用助成	1人

4 感染症予防事業

(1) 感染症予防に向けた備蓄並びに普及啓発

- ①新感染症の流行に備え、消毒液、防護服セット等の計画的な備蓄を行った。
- ②インフルエンザ・手足口病・伝染性紅斑の感染症注警報を市ホームページ等で周知した。
- ③健康まつりや出前講座で手洗いチェッカーを用い、感染症についての普及啓発を実施した。

事業名	回数	参加者数
健康まつり	1回	45人
出前講座	3回	55人

(2) 新型インフルエンザ等行動計画の改定

新型インフルエンザ等特別措置法に基づき、庁内検討会議での協議や有識者会議での意見を踏まえ、八潮市新型インフルエンザ等対策行動計画を改定した。

5 休日診療所運営事業

休日における急病者の診療を確保するため、初期救急医療として実施した。

診療日：日曜日、祝日、振替休日、年末年始(12月31日から1月3日)

診療科目：内科、小児科

事業名	実施日数	受診者数	診療科目別内訳		1日平均 受診者数
			内科	小児科	
休日診療所運営事業	71日	866人	429人	437人	12.2人

6 母子保健事業

母子保健法に基づき、母子健康手帳の交付や健康教育、健康相談、健康診査等、妊婦や乳幼児を対象に母子保健事業を実施した。

また、「こども家庭センター」として、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉が一体となり相談支援を実施した。

(1) 各種事業等

事業名		実施日数	該当者数	実施・受診者数	受診率
早期不妊検査費助成		随時		82人	
不育症検査費助成		随時		6人	
低所得の妊婦に対する初回産科等受診料助成		随時		4人	
妊娠届出／母子健康手帳交付 (注1)		随時		708人／733人	
妊婦のための支援給付[変更]	妊娠届出後	随時		689件(689人)	
	こどもの数届出後	随時		730件(721人)	
妊婦健康診査等	①一般健康診査(14回)	随時	708人	延7,588人	
	②H I V抗体検査	随時		674人	
	③子宮頸がん検診	随時		648人	
	④性器クラミジア検査	随時		662人	
	⑤H T L V - 1 検査	随時		643人	
パパ・ママ学級		14日		403人	
プレママサロン		9日		延80人	
妊娠8か月時アンケート		随時	684人	640人	
新生児聴覚スクリーニング検査		随時		603人	
産婦健康診査		随時		605人/延858人	
産後ケア事業【拡充】	短期入所型	随時		81人/355日	
	居宅訪問型	随時		2人/3回	
	通所型(集団型)	随時		延348人/40回	
	通所型(個別型)	随時		74人/延128人	
未熟児養育医療の給付		随時		22人	
未熟児訪問指導		随時		延58人	
新生児／妊産婦訪問指導		随時		380人/377人	
こんにちは赤ちゃん訪問		随時		117人	
母子保健訪問指導		随時		延582人	
離乳食教室(初期)		12日		(親子)141組	
離乳食教室(後期)		12日		(親子)82組	
1か月児健康診査【新規】		随時	598人	499人	83.4%
4か月児健康診査		随時	691人	676人	97.8%
10か月児健康診査		随時	667人	643人	96.4%
1歳6か月児健康診査		15日	615人	596人	96.9%
3歳児健康診査		15日	650人	639人	98.3%
はみがき教室		30日	1,231人	(親子)321組	
すこやか相談		27日		延143人	
ママのこころの相談		10日		16人	
子育てメンタルサロン		12日		延24人	
0歳児ファーストブック事業		12日		108組	
食物アレルギー講座		1日		32人	

注1：母子健康手帳交付は、多胎等の追加交付(9人)、再交付(16人)を含む。

(2) にじいろ子育て相談室

専任の保健師・助産師が妊娠期から子育て期までのさまざまな相談に応じ、切れ目ない支援を行った。

相談方法	実施件数
母子健康手帳交付時の面接	764件
来所相談	670件
電話相談	834件